

## 脱炭素先行地域の指定を

提案内容	<p>令和4年4月27日山陰中央新報に脱炭素先行地に山陰で2ヶ所指定されるとの記事を読みました。私の家でもソーラーを設置していますが、今は売電単価も安く（10年前@42円K）でした。1月には蓄電池を購入設置しました。全国に先がけ国・雲南市が一体となり、ソーラー及び蓄電池の設置を推進されることを要望いたします。検討の結果回答をお願いします。</p>
回 答	<p>ご提案いただきありがとうございます。</p> <p>雲南市では、6月議会において「脱炭素宣言」を行う予定としており、この宣言後に具体的な取り組み内容を盛り込んだ実行計画を策定する予定にしております。</p> <p>そのロードマップを描いた上で、市民の皆様や企業等の皆様とともに 着実に進めていくために、庁内体制を整備したところであり、環境フォーラム、環境会議を行い、市民の皆様や企業の皆様と着実に取り組んでまいります。</p> <p>環境省が行う、脱炭素先行地域につきましては、2025年までに少なくとも100か所の脱炭素先行地域を選定し、2030年までに実行することとしています。今回、中国地方では、島根県「邑南町」、境港市と共同提案した鳥取県「米子市」、岡山県「真庭市」と「西粟倉村」の4自治体を選定されました。選定された自治体の提案内容は、先進的な取り組みばかりではなく、実現可能性がある取り組みで、他自治体への広がる可能性があるものが採択されています。また、地域資源や地域課題を踏まえた特徴的な取り組みや仕組みを導入する提案も採択されていることから、今後、雲南市においても、実行計画策定を行う中で、太陽光発電・蓄電池補助の充実強化等、支援策等も検討し、雲南市らしい取り組みを提案したいと考えております。</p>